

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6・43	拘束について(言葉)もその1つであることについての認識が足りない。また、プライバシーへの配慮も100%ではない。	安全面を考えつつの言葉のかけ方を考える。	拘束についての学習会を行う。また、プライバシーへの配慮についても学習する機会を持つ。	12ヶ月
2	8	成年後見制度について学習を深め、家族にも広めていく。	制度について家族とともに学びあう機会を持つ。	12月8日に地域の「介護者のつどい」で説明会があるので参加し、講師をお願いする。	12ヶ月
3	11・36	職員の意見を汲み取る仕組みづくりを考える。	目標を立てることによって、職員一人一人の思いを知る。	年間の目標を立て、それに向かって努力し、達成度を知る。また、自分を客観視した目標を立てる。	12ヶ月
4	26・45	アセスメント記録を日々のケアに活用できているのが充分ではない。	アセスメント記録をケアに活用し、よりよく一人一人をケアできるようにする。	アセスメントの見直しを行う。入浴時の会話記録も丁寧に記録する。	12ヶ月
5	33	終末期のマニュアル作りへの意見交換を職員、家族と行っていない。	マニュアルを作る。	意見交換を家族会で行う。	12ヶ月